

## 令和 5 年度 福島大学基金研究推進事業助成による成果報告書

令和 5 年 9 月 6 日

学 長 殿

所属部局・職名 研究員

申請者名 鹿野仁美

助成の区分 (該当するものに○)	<input checked="" type="checkbox"/> 学会参加助成 ・ 学術出版助成 ・ 学術論文掲載料等助成
事業名	Euro Analysis 2023
成果の概要	<p>Euro Analysis 2023 に参加し、発表・情報収集を行なった。</p> <p>分析化学を母体とした、基礎科学からライフサイエンス分野まで幅広い研究者および技術者が世界各国から集う。2 年に一度欧州国で開催される。今回で 19 回目となる大会。今回は食品化学会とも共催し、Prof. Doris Marko (University of Vienna, Austria) が食の安全、SDGS について基調講演を行う特別企画も開催された。</p> <p>1 日目はイメージング質量分析 (MSI) に関するセミナーに参加した。このセミナーでは、MSI のイオン化技術や質量分析計に関する基本的な知識から始まり、MSI のワークフローとサンプル前処理戦略について詳しく説明された。例えば、リポドミクスやメタボロミクス、タンパク・ペプチドに対するアプローチについても紹介された。また、データ解析に関する最新情報も提供され、非常に有益な情報を得ることができた。</p> <p>2 日目から 5 日目までは口頭発表のセッションに参加し、情報収集を行った。2 日目には自身も発表を行い、質疑応答のセッションでは聴衆からの質問に答えることができた。これを通じて、自身の研究内容を広く世界に発信する機会を持つことができた。</p> <p>セッションが終了すると、他の発表者や聴衆とコミュニケーションを取りながら意見交換を行い、最新の情報を共有した。また、MSI の第一人者である Lon 氏の発表を聞く機会もあり、彼とコンタクトをとることができた。これは今後の研究生活において非常に貴重な経験となった。</p>